

京都 菊浜学区

防災まちづくりプラン

福祉



令和2年3月

菊浜連合会
菊浜まちづくり推進委員会
菊浜学区民

菊浜学区防災・福祉まちづくりプランの策定に当たって

菊浜連合会 会長 梅川満

菊浜学区防災・福祉まちづくりプラン策定に際し、先ずは学区民のみなさま、市および区の防災・福祉関係者のみなさまに心より御礼申し上げます。

平成 29 年より取り組んでまいりましたまちづくり活動がありますが、みなさまのご努力、ご協力、ご支援に感謝申し上げます。冊子がみなさまのお手元に届けられますことを嬉しく思っています。

学区の現状を把握することからはじまり、課題がさまざまな角度から洗い出され、菊浜学区に暮らす私たちが目指すまちがどのようなまちで、どのように毎日を暮らしていけば良いのか、取組等が非常に具体的にわかりやすくまとめられています。

災害はいつ起こるかわからない、予想もつかないものです。安心・安全なまちづくり、災害に強いまちづくりのために学区のみなさま一人ひとりが防災の意識を持つことが重要です。自助・共助の精神を大切にし、災害発生時には十分な対応が出来るよう、継続的に研修会等の実施も考えています。

学区民のみなさまが安心して暮らせる安全なまちづくり、災害に強いまちづくりのために今後ともご協力、ご支援をたまわりますようお願い申し上げます。



菊浜まちづくり推進委員会 会長 竹田宏三

菊浜学区は市街地で有りながら自然が残り古い町並みの静かな地域です。近年の観光ブームにより空き家が宿泊施設に変わり、不特定多数の人の流入による防犯上の懸念が増しています。また、近い将来発生すると言われている「南海トラフ」大地震や、温暖化による超大型台風・集中豪雨などによる大水害では鴨川沿い全ての建物の倒壊が想定されるなど、これまで以上に防災の必要性が高まっています。

このたび、防災まちづくりのガイドラインとして行政と共に【菊浜学区防災・福祉まちづくりプラン】を作成致しました。また区民会館横に【菊浜空家対策・防災福祉まちづくり】専用掲示板を設置、各町内に【水害ハザードマップ】を掲示しております。事前の準備、早めの避難をして頂き、命を守る行動を取って頂きますようお願い致します。

役員の皆様には地域住民への防災意識向上、災害に強いまちづくりにご協力を切にお願い申し上げます。



菊浜市政協力委員連絡協議会 会長 上村隆明

平成 29 年より菊浜まちづくり推進委員会に参加し、災害に強いまちを目標に、「防災まちづくり」に活動して参りましたが、まちあるきやワークショップを実施し、意見集約しながらの運営で、当初は試行錯誤の状況でした。

そう言う私も菊浜市政協力委員連絡協議会の会長は初心者で、全てが初めての決断を迫られる連続でした。しかし、そのお陰でまちあるきやワークショップを繰り返す内に見えてくるものがあり、私にとっても有意義な三年間でした。

当然、菊浜学区民の皆様の協力がなければ、この様な成果は上がりません。これからも継続して防災まちづくりに取り組み、今までの学区民の意見を尊重しながら前進していくのが大切な結論でしょう。

この三年の出来事が何時までも皆様の心に残り、未来の菊浜学区に大きな希望を与えられることを願って止みません。この委員会に携わられた竹田会長を始め、皆様から心からの感謝を表し御礼申し上げます。



目 次

第1章	取組の背景・目的	・・・ 1
	（1）背景と目的	
	（2）計画の役割	
	（3）これまでの取組	
第2章	現状と課題	・・・ 11
	（1）現状	
	（2）防災上の課題	
第3章	防災まちづくりの目標	・・・ 17
	（1）目指すまちの将来像	
	（2）目指すまちの将来像を実現する基本方針	
	（3）基本方針ごとの取組	
第4章	防災まちづくりの進め方	・・・ 28
	（1）防災まちづくりの取組のスケジュール	
	（2）主体ごとの役割	
	（3）「一人ひとり」の役割	
	（4）「町内会」の役割	
	（5）具体的な取組メニュー	

第1章 取組の背景・目的

(1) 背景と目的

菊浜学区は、JR京都駅に近く、河原町通、五条通、七条通の広域的な幹線道路が通過し、交通利便性に恵まれています。また、学区内には、高瀬川が流れ、東側は鴨川に接するなど、豊かな自然環境を有しています。さらに、市街地の中には古くからの町家や路地が残るなど、風情ある京都らしい町並みを有しています。

その一方で、幅員4m未満の路地や古い木造の建物が多く、地震などの災害時には建物倒壊や火災の発生・燃え広がりなどの被害が予想されるとともに、高齢者や障がいのある方への配慮も必要になっています。特に、こども・高齢者・障がいのある方などの災害時要配慮者と言われる方は、災害時や災害後の生活において困りごとを抱えたまま孤立することがあると言われています。

こうしたことから、菊浜学区では、災害に強い、誰もが安心・安全に住み続けられるまちを目指し、平成29年度から「防災・福祉まちづくり」に取り組み、住民のみなさんとまちあるきや、防災や福祉に関する話し合いを重ねてきました。

「防災・福祉まちづくりプラン」は、災害の被害から人命や財産を守り、将来にわたって安心・安全に住み続けることができるよう、学区が継続して「防災まちづくり」に取り組んでいくための考え方や具体的な取組等を取りまとめたものです。

(2) 計画の役割

「防災・福祉まちづくりプラン」が有する役割は、以下のとおりです。

①実現すべき目指すまちの将来像を明らかにする役割

今後の「防災まちづくり」の取組に向けて、誰にとっても分かりやすい表現で、実現すべき目指すまちの将来像や「防災まちづくり」の基本方針、具体的な「防災まちづくり」対策等を明らかにします。

②具体的な「防災まちづくり」対策を進める指針とする役割

地域で把握・共有した防災上の課題解決に向けて、地域の特性を踏まえた具体的な「防災まちづくり」対策を進めていく際の指針とします。

③住民や事業者の理解、合意形成を図る役割

目指すまちの将来像や「防災まちづくり」の基本方針を、住民、事業者、行政が共通の目標として共有することにより、「防災まちづくり」に対する理解を深め、「防災まちづくり」の取組全般に対する合意形成や相互の調整を容易にします。

(3) これまでの取組

- ・防災まちづくりの取組に先立ち、菊浜学区では、人口減少や空き家の増加等の課題に対応するため、平成 27 年 1 月に「菊浜まちづくり推進委員会」を発足し、平成 28 年度には、学区の将来ビジョンである「住みずみ菊浜かるた三十帖」を作成しました。



・「住みずみ菊浜かるた三十帖」(以下、「菊浜かるた」)は、意見交換会などで広くアイデアを募集し、地元の声を中心として、地域に幅広く理解・浸透していくために、学区にゆかりのある「かるた」で取りまとめました。



■学区の福祉や顔の見える関係づくりの取組

▶ さくらまつりなど

- ・菊浜学区では、菊浜連合会や菊浜学区社会福祉協議会が中心となって、毎年、さくらまつりを開催し、住民のみなさんの交流や顔の見える関係づくりに取り組んでいます。



▶ セセラギサロン

- ・菊浜学区社会福祉協議会では、毎月第2・第4水曜日に「せせらぎサロン」を開催しています。



▶ 男の料理教室

- ・菊浜学区社会福祉協議会では、年4回、「男の料理教室」を開催しています。



■平成 29 年度の取組

年 月 日	会議名等 (黄色：委員会 ピンク色：住民のみなさんに参加頂いた取組)
平成29年6月19日 (月)	第1回まちづくり推進委員会 (「防災まちづくり」の進め方等)
平成29年7月19日 (水)	町内会長説明会・意見交換会
平成29年8月24日 (木)	第2回まちづくり推進委員会 (「防災まちあるき」の進め方等)
平成29年9月3日 (日)	「防災まちあるき」 (1グループ)
平成29年9月24日 (日)	「防災まちあるき」 (2グループ)
平成29年10月	「防災まちづくりNews」第1号発行
平成29年10月31日 (火)	防災まちづくり意見交換会 (1グループ)
平成29年11月14日 (火)	防災まちづくり意見交換会 (2グループ)
平成29年12月3日 (日)	総合防災訓練 (取組PR、住民意向の把握)
平成30年2月6日 (火)	「みんなでたすかる防災について考える講座in菊浜学区」
平成30年2月28日 (水)	第3回まちづくり推進委員会 (今年度の取組の振り返り等)
平成30年3月	「防災まちづくりNews」第2号発行

▶ 「防災まちあるき」

- ・町内の路地や建物などの様子を確認しながら防災上課題となる点を発見し、まちあるき後に振り返り、課題を整理・共有しました。



◆『防災まちあるき』の感想等

- ・空き家やゲストハウスが増えてきており、管理者が分からないゲストハウスもある。
- ・路地の中に空き家が多く、通り抜けができない路地も多い。
- ・人が減って、地域の行事がなくなるのは残念。
- ・高瀬川の並木が倒壊したら大変。
- ・町ぐるみで歩くことで初めて知ることも多く、このような機会を共有することで自分の住むまちを知り、問題点や災害に向けた取組を考えるのはとても良いこと。
- ・防災に関心を持ってもらい、こうした取組には多くの住民の方に参加してもらいたい。

◆今後の取組へのアイデア等

- ・道を広げるのは難しいので、家を倒れないようにしたり、火を出さないことが大切。
- ・災害時に避難しやすいように、日頃から植木や自転車等を適正管理しておくことが大切。
- ・全てを直していくことは出来なくても、路地の入口付近の建物の改善はすぐにも必要。
- ・空き家を除却して防災ひろばを整備したい。
- ・今後、高齢者が増えるため、今以上に人と人の繋がりを作ることが重要。
- ・桜やホテルの取組と同様、防災マップづくりなども総合的に小学生や中学生の子どもたちと一緒に進められると良い。

- ▶ **路地の愛称** ・菊浜学区では、町内会等と連携し、名前のない路地に愛称を付け、緊急車両がすぐに来られるように消防等と情報共有を行いました。

みんなで覚えよう！路地の愛称

1. 通り ↔ : 2本

- ①: 新寺町通
- ②: 桜街公園通

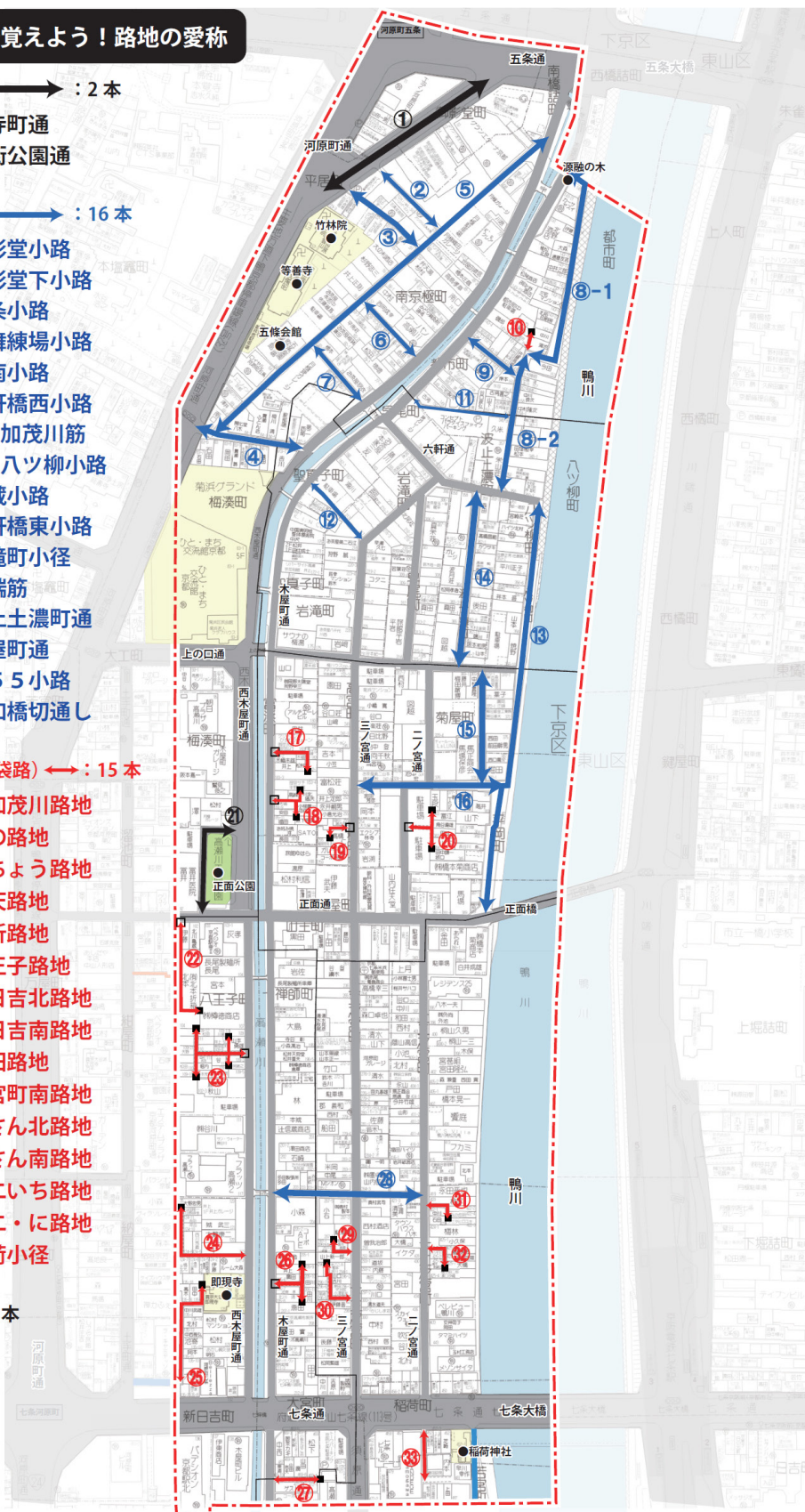
2. 小路 ↔ : 16本

- ③: 御影堂小路
- ④: 御影堂下小路
- ⑤: 六条小路
- ⑥: 歌舞練場小路
- ⑦: 平南小路
- ⑧: 六軒橋西小路
- ⑧-1: 加茂川筋
- ⑧-2: ハツ柳小路
- ⑨: 地藏小路
- ⑩: 六軒橋東小路
- ⑪: 岩滝町小径
- ⑫: 川端筋
- ⑬: 波止土濃町通
- ⑭: 菊屋町通
- ⑮: 255小路
- ⑯: 昭和橋通し

3. 路地（袋路） ↔ : 15本

- ⑩: 西加茂川路地
- ⑪: 桐の路地
- ⑫: いちよう路地
- ⑬: 任天路地
- ⑭: 北折路地
- ⑮: 八王子路地
- ⑯: 新日吉北路地
- ⑰: 新日吉南路地
- ⑱: 伊田路地
- ⑲: 大宮町南路地
- ⑳: 下さん北路地
- ㉑: 下さん南路地
- ㉒: 下二いち路地
- ㉓: 下二・に路地
- ㉔: 稲荷小径

■合計：33本



■平成 30 年度の取組

年 月 日	会議名等 (黄色：委員会 ピンク色：住民のみなさんに参加頂いた取組)
平成30年4月1日 (日)	市政協力委員総会 (取組のPR、協力依頼等)
平成30年7月10日 (火)	第4回まちづくり推進委員会 (今年度の取組案等)
平成30年7月23日 (月)	防災リーダー研修 (「防災まちづくり」とは)
平成30年8月28日 (火)	第5回まちづくり推進委員会 (「防災・福祉まちあるき」等)
平成30年9月2日 (日)	「防災・福祉まちあるき」 (1グループ)
平成30年10月	「防災まちづくりNews」第3号発行
平成30年9月24日 (祝)	「防災・福祉まちあるき」 (2グループ)
平成30年10月	「防災まちづくりNews」第4号発行
平成30年11月13日 (火)	防災リーダー研修 (1グループ)
平成30年11月16日 (金)	防災リーダー研修 (2グループ)
平成30年11月26日 (月)	第6回まちづくり推進委員会 (「防災まちづくり計画」等)
平成30年12月2日 (日)	総合防災訓練 (取組PR、住民意向の把握、減災カフェ)
平成31年1月18日 (金)	第7回まちづくり推進委員会 (「防災まちづくり計画」等)
平成31年2月10日 (日)	減災カフェ
平成31年3月7日 (木)	第8回まちづくり推進委員会 (今年度の取組の振り返り等)

▶ 「防災・福祉まちあるき」

- ・平成 30 年度は、お住まいの町内ではない他の町内を歩き、自分の町内との違いや平成 29 年度に取り組んだ『路地の愛称』を確認するとともに、高齢者の方の視点から災害に強いまちをつくることを考えるまちあるきを開催しました。



◆『防災・福祉まちあるき』の感想等

- ・日頃、歩かない場所を目にすることは非常にためになりました。
- ・視点を変えたまちあるきで普段気付かない所も発見できて良かった。
- ・良い点、改善すべき点を自分の町内と比較して考えられたことが良かった。
- ・防災の目線でまちあるきをすることが少ないため、良い経験になりました。
- ・地元の人の参加を増やしてやりたい。
- ・初めての参加でしたが深く勉強になりました。意識を持つ事が大事ですね。
- ・普段、こんなにもしっかりと確認することがないので良い機会でした。自分の住んでいる地域もゆっくりと歩いて確認していこうと思います。これを機に地域住民と市が協力して住みやすい町づくりをしてほしい。

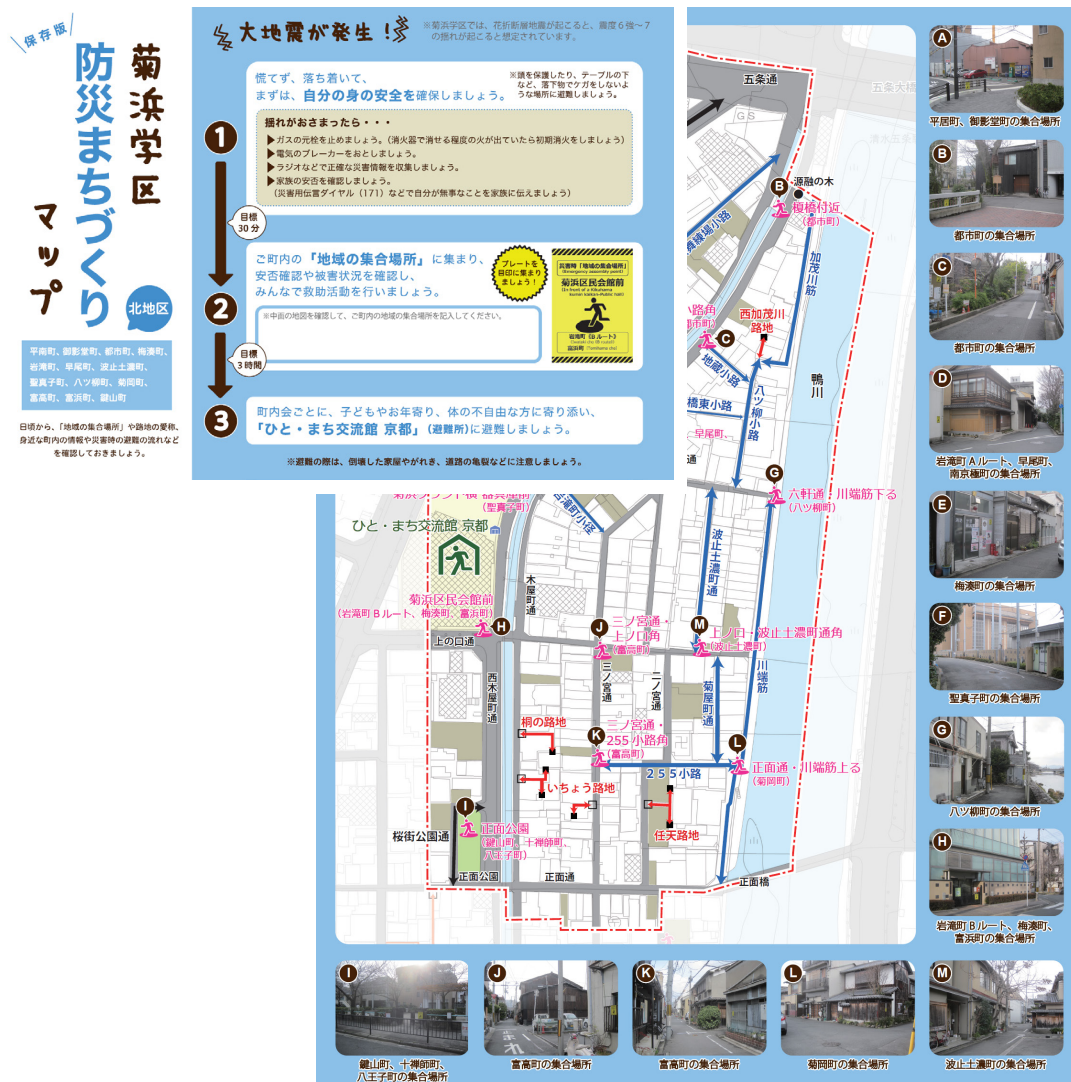
▶ 「地域の集合場所」 プレートの製作・設置

- ・災害時に町内会の集合場所となる「地域の集合場所」に、日常的に「地域の集合場所」を確認できるようにプレートを設置しました。



▶ 「防災まちづくりマップ」の製作・全戸配布

- ・路地の愛称や「地域の集合場所」を「防災まちづくりマップ」として取りまとめ、全戸配布しました。



■令和元年度の取組

年 月 日	会議名等（黄色：委員会 ピンク色：住民のみなさんに参加頂いた取組）
平成31年4月13日（土）	市政協力委員総会（取組のPR、協力依頼等）
令和元年6月13日（木）	第9回まちづくり推進委員会（今年度の取組案等）
令和元年7月14日（日）	「防災・福祉まちあるき」（1グループ）
令和元年10月23日（水）	第10回まちづくり推進委員会（防災・福祉まちあるきの振り返り等）
令和元年11月7日（木）	防災リーダー研修（1グループ）
令和元年11月	「防災まちづくりNews」第5号発行
令和元年11月12日（火）	防災リーダー研修（2グループ）
令和元年12月1日（日）	総合防災訓練（取組PR、住民意向の把握、減災カフェ）
令和2年3月3日（火）	第11回まちづくり推進委員会（防災・福祉まちづくりプラン等）
令和2年3月	「防災・福祉まちづくりプラン」発行

▶ 「防災・福祉まちあるき」

- ・令和元年度は、各町内を実際に歩き、各町が抱える防災上の課題などを共有するとともに、日頃から声を掛け合える関係の大切さを見つめ直し、災害時のリーダーとなる方々と地域の社会資源（菊浜のまちづくりに協力いただけるお店や事業所等）との繋がりを作ることを目的としたまちあるきを開催しました。



◆ 『防災・福祉まちあるき』の感想等

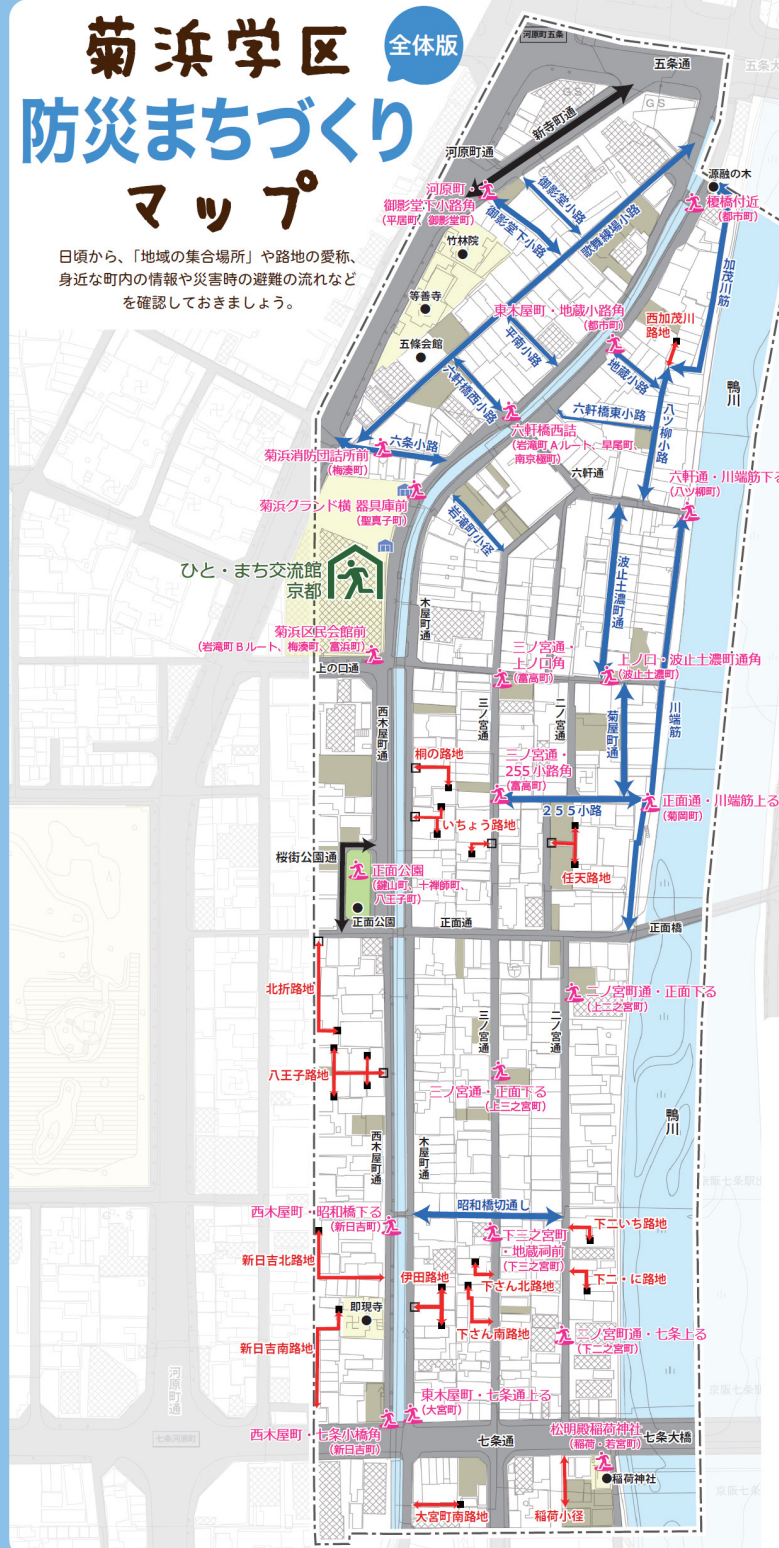
- ・参加でき、色々知らなかったことも、変わっていることも分かって良かったです。時々、町内を歩くのも良いです。
- ・まちの状況を把握する上で、非常に意義のあることだと思った。
- ・ゆっくり歩くことで、いろんな発見ができたと思います。気が付くことで防災を意識できるきっかけになると思います。
- ・地域の情報が得られ、顔なじみにもなり、大変良かった。
- ・面白かったです。歩かなければ気付かないこと、地域の方だからこそ知っていることを共有させていただきました。
- ・地域の方と繋がる機会があり、良かったです。交流だけでなく、一緒に協議する場があることがすばらしいと思いました。ありがとうございました。
- ・一人ひとりの参加者といろいろな話ができたことが良かったです。全体的にはこれまでで一番参加者が多く盛況で何よりでした。
- ・顔の見える関係づくりの大切さを感じました。

▶ 「防災まちづくりマップ」プレートの製作・設置

- ・路地の愛称や「地域の集合場所」、災害時の避難の流れを示した「防災まちづくりマップ」プレートを製作し、各町内の掲示板に設置しました。

菊浜学区 防災まちづくり マップ

日頃から、「地域の集合場所」や路地の愛称、身近な町内の情報や災害時の避難の流れなどを確認しておきましょう。



災害時の避難の流れ

大地震が発生！

※菊浜学区では、花折断層地震が起こると、震度6強～7の揺れが起こると想定されています。

- 慌てず、落ち着いて、まずは、**自分の身の安全**を確保しましょう。

※頭を保護したり、テーブルの下など、落下物でケガをしないような場所に避難しましょう。

目標 30分
- ご町内の「**地域の集合場所**」に集まり、安否確認や被害状況を確認し、みんなで救助活動を行いましょう。

プレートを目印に集まりましょう！

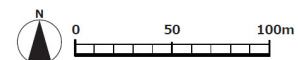
災害時「地域の集合場所」
Kikuhama Community Center
菊浜区民会館前
(The front of a Kikuhama Community Center Public Hall)
岩瀬町 Bルート
(Iwasecho B Route)
菊浜町 (Kikuhamacho)

目標 3時間
- 町内会ごとに、子どもやお年寄り、体の不自由な方に寄り添い、「**ひと・まち交流館 京都**」(避難所)に避難しましょう。

※避難の際は、倒壊した家屋やがれき、道路の亀裂などに注意しましょう。

凡例

- 通り抜けができる路地
- 通り抜けができない路地(袋路)
- 袋路(突き当たりが建物)
- トンネル路地
- 地域の集合場所
- 避難所(ひと・まち交流館 京都)
- 防災倉庫
- 公園
- 神社・お寺・公共施設等
- 駐車場・空き地等



第2章 現状と課題

(1) 現状

① 菊浜学区の位置・立地状況

- ・ 菊浜学区は京都駅に近接し、北側には五条通、南側には七条通り、西側には河原町通が通っています。
- ・ 東側は鴨川に接し、学区のほぼ中央には高瀬川が流れており、市街地の中で水と緑を身近に感じられる貴重な空間が形成されています。

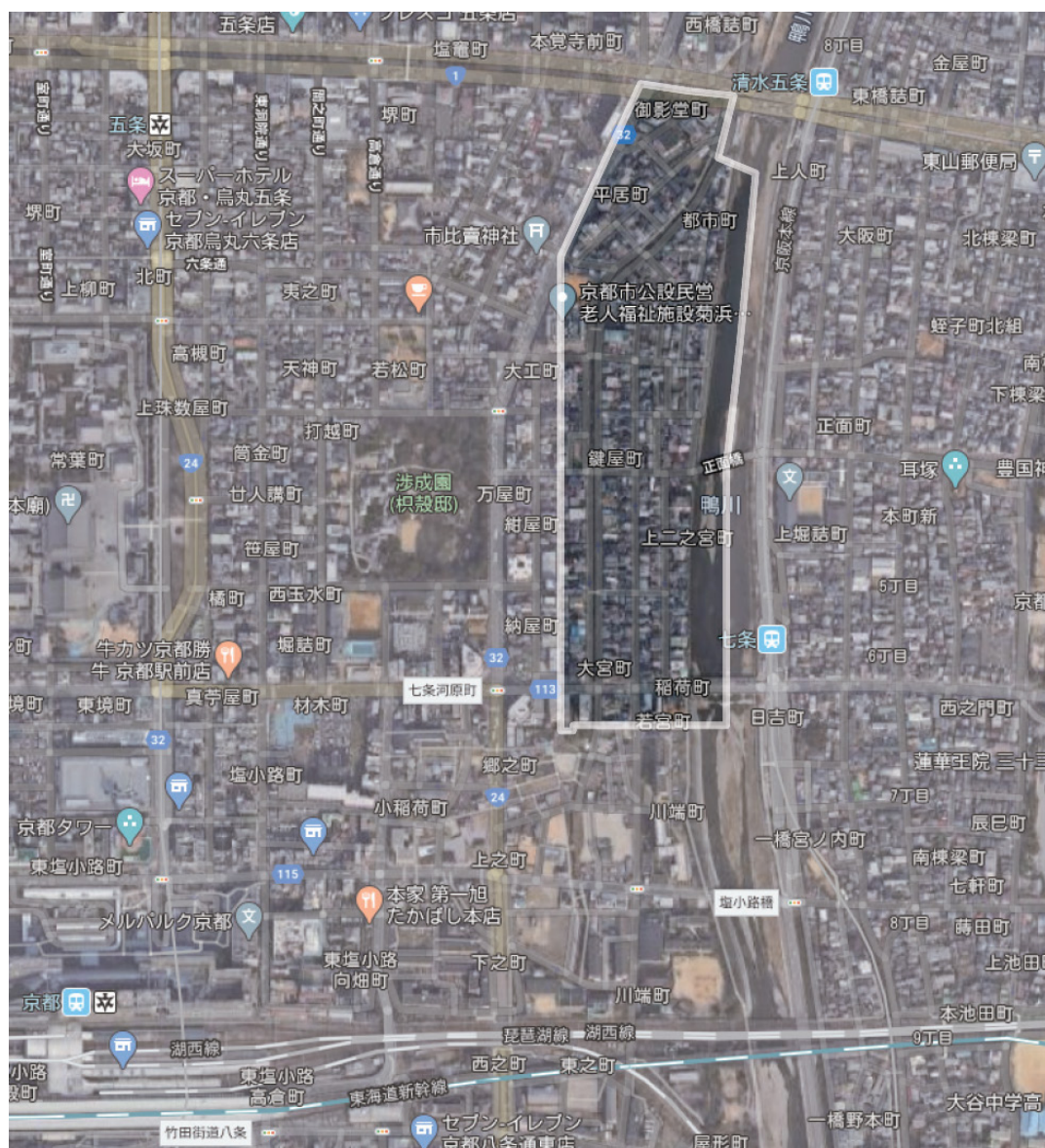


図 菊浜学区の位置・立地状況（画像©2020google マップ）

②宿泊施設（旅館・ホテル・簡易宿所等）の立地状況

- ・菊浜学区は京都駅に近接する立地条件などを背景として、近年、宿泊施設が増加し、町内会の機能やまとまりが弱まっているところが見られるようになっていきます。

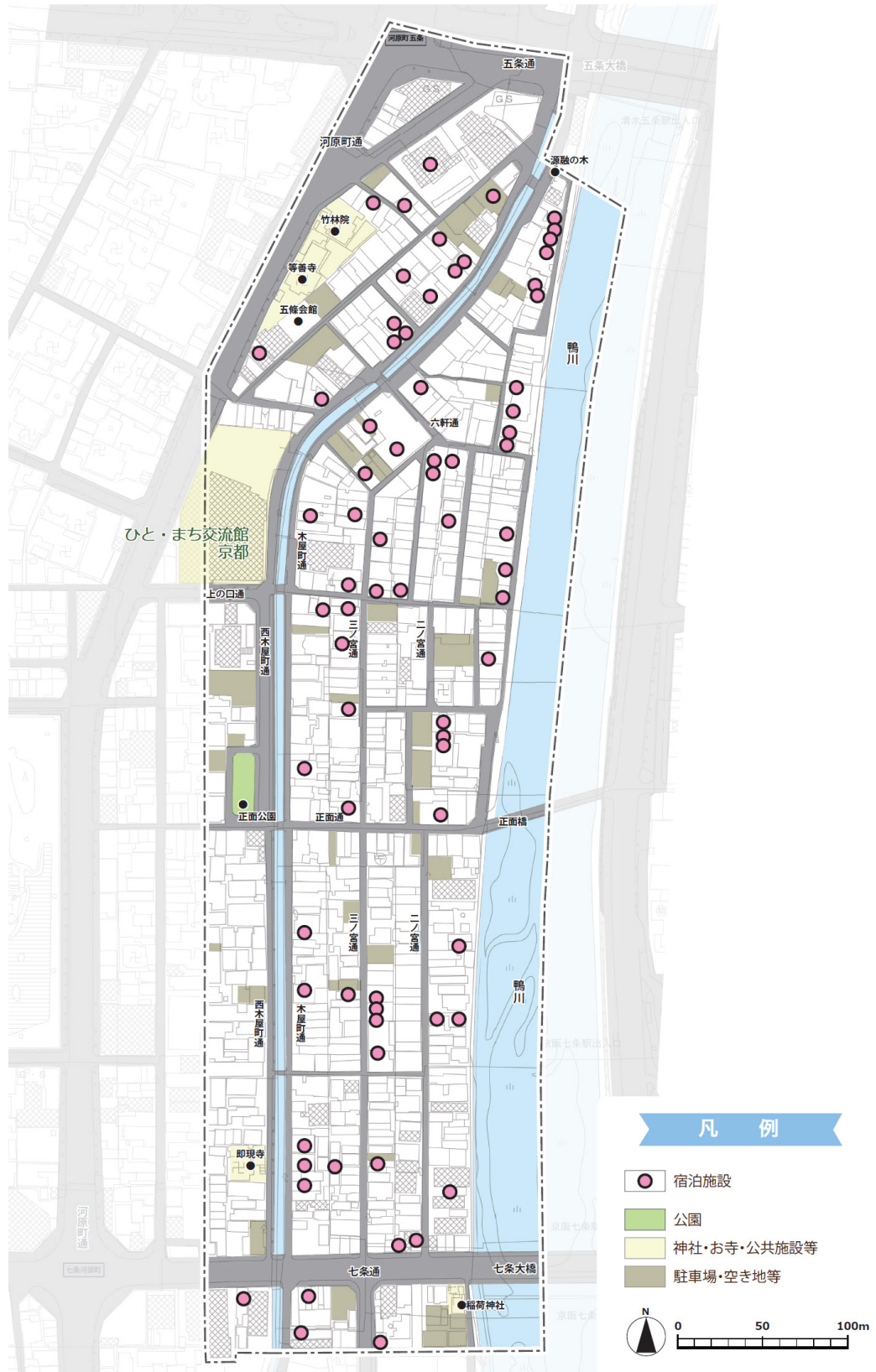


図 宿泊施設（旅館・ホテル・簡易宿所等）の立地状況

※京都市「旅館業法に基づく許可施設及び施設外玄関帳場一覧（令和元年12月末現在）」より作成
 ※営業実態が確認できない施設を除く。

③社会資源（菊浜のまちづくりに協力いただけるお店や事業所等）の立地状況

- ・菊浜学区には、様々な社会資源があり、令和元年度の「防災・福祉まちあるき」では、社会資源との繋がりづくりを目的に社会資源を訪問しました。

ご協力いただいた **菊浜の社会資源のみなさん** をご紹介します！

■菊浜ショートステイ

- ・福祉避難所に指定。
- ・菊浜の人が優先的に利用できなくても、地域にこのような施設があると心強い。
- ・施設見学は随時対応している。
- ・交流イベントがいろいろある。



■梅湯

- ・土日は朝風呂をされていて、好評である。
- ・外国人観光客も多い。
- ・学区の入口なので、灯りがともっていると、地域に元気を与えてくれる。賑やかで良い。



■ホテルグラッドワン京都七条

- ・宿泊者の災害時の緊急物資を備蓄している。
- ・ホテル前の広いスペースは災害時に活用できるかもしれない。



■京都七条米浜郵便局

- ・待合スペースは、疲れた時に立ち寄り、休憩する場所にもなる。
- ・認知症の方を関係機関に繋ぐ等の連携も実践。
- ・地域の取組にも協力。



■中島商店

- ・日中の見守りの目にもなっている。
- ・おかずが安い。食べやすい。配達もしてくれる。年配の方、一人向けの方は利用しやすい。
- ・月曜日は定休日。



■セブンイレブン京都七条大橋店

- ・菊浜唯一のコンビニ。
- ・店内で、重い荷物を持つなど、買い物の手伝いをしてくれる。
- ・地域のお役に立ちたいという想いがある。



繋がりを大切にして、
災害に強い菊浜のまちを
つくっていきましょう！

2

2019.11 菊浜「防災まちづくり」ニュース 第5号

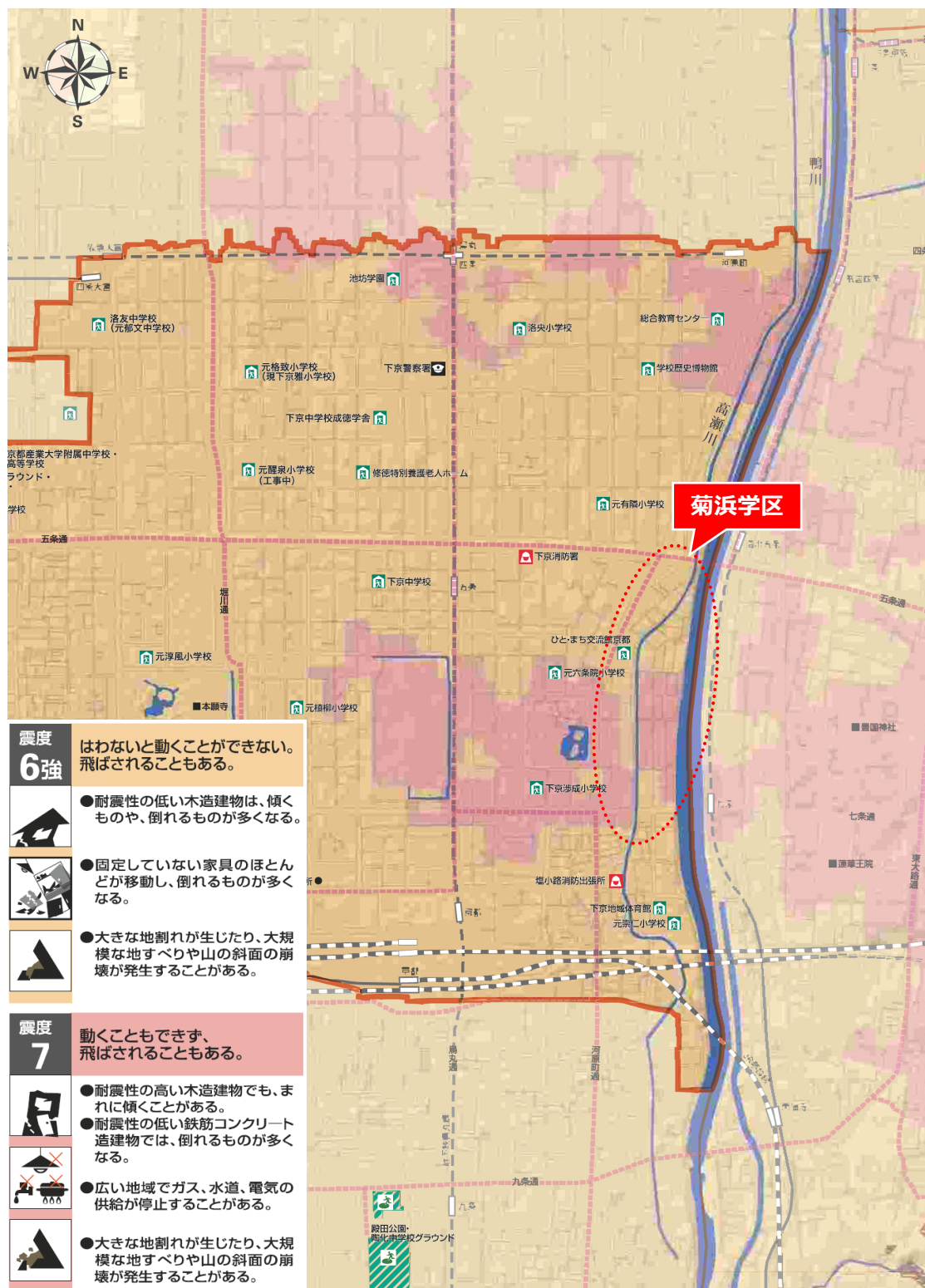
図 菊浜「防災まちづくり」ニュース 第5号（2019.11 発行）

※令和元年度「防災・福祉まちあるき」で訪問した社会資源であり、菊浜学区内には菊浜のまちづくりに協力いただけるお店や事業所等が多くあります。

(2) 防災上の課題

①地震による被害

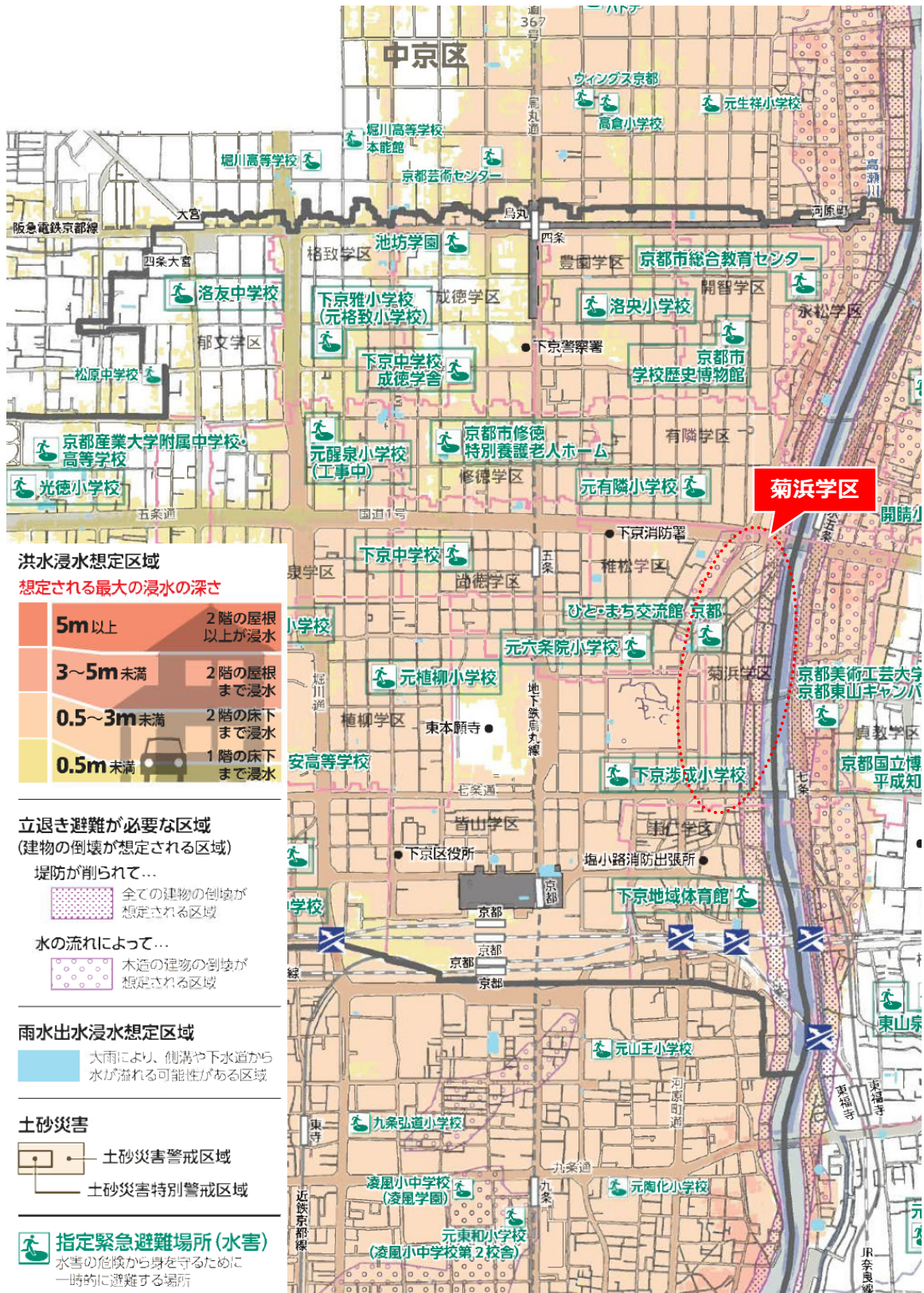
- ・花折断層地震が起こると、菊浜学区では、震度6強～震度7が予測されており、家屋の倒壊をはじめ、火災の発生、人的被害、ライフラインの機能停止など、大きな被害が想定されています。



【出典】京都市地震ハザードマップ（発行：平成31年4月）

②水害による被害

- ・水防法によって国や京都府が指定する河川「桂川下流」「天神川」「鴨川・高野川」が氾濫した場合、菊浜学区では、浸水の深さが0.5～3m、場所によっては3～5mが予測されています。また、鴨川に沿って、立退き避難が必要な区域が位置付けられています。



【出典】京都市水害ハザードマップ（発行：平成31年4月）

③防災上の課題の整理

- ・現状や、地震や水害による被害想定、これまでの取組で頂いた住民のみなさんのご意見等を踏まえ、菊浜学区の防災上の課題として、以下のような点が整理できます。

「コミュニティ」に関する課題

- ・ゲストハウスやホテルなどが増える一方、菊浜学区で暮らす住民が減少しており、町内会のまとまりが弱まっているところが見られます。
- ・高齢者が増え、町内会や地域コミュニティに関わらない人も見られるようになっていきます。

【課題①】 町内会のまとまりが弱まり、高齢者や地域と距離を置く人が増えると、災害時の安否確認や円滑な避難、救出救護活動への影響が心配されます。

「いえ」に関する課題

- ・花街の雰囲気残り、風情ある町並みが見られる一方で、古い木造住宅が多く見られます。
- ・放置された管理不全状態の空き家があり、高齢化の進展により、今後も空き家が増加することが予測されます。
- ・地震に強い家づくりなど、自宅の耐震改修などに取り組む人は少ない状況です。

【課題①】 建物の倒壊により、自身の生命や財産だけでなく、安全な避難や緊急車両が侵入できないなどの危険性があります。

【課題②】 放置された管理不全空き家は、倒壊により、安全な避難に支障をきたす恐れがあります。

「みち」に関する課題

- ・五条通、河原町通、七条通の幹線道路が学区の外周を取り囲んでいますが、これらの内側では、幅員の狭い道が多く見られます。
- ・トンネル路地が、幾つか残っています。
- ・いろんな物が置かれた道や段差のある道が見られます。

【課題①】 幅員の狭い道が多く、災害時に建物が倒壊すると避難経路がふさがれ、安全な避難が出来なくなったり、緊急車両の円滑な通行が難しく、災害時の対応に遅れが生じる可能性があります。

「まち」に関する課題

- ・学区の東側に鴨川が流れ、鴨川が氾濫した場合に堤防が削られて建物が倒壊する恐れがあります。
- ・学区の中央に高瀬川が流れ、学区の中心に正面公園が整備されていますが、日常的に住民が憩える公園や広場は少ない状況です。

【課題①】 鴨川が氾濫した場合、建物の倒壊など、大きな被害が発生する恐れがあります。

【課題②】 災害時の一時的な避難や火災の延焼を防止する空間が少なく、安全な避難や火災の延焼などの危険性が心配されます。

第3章 防災まちづくりの目標

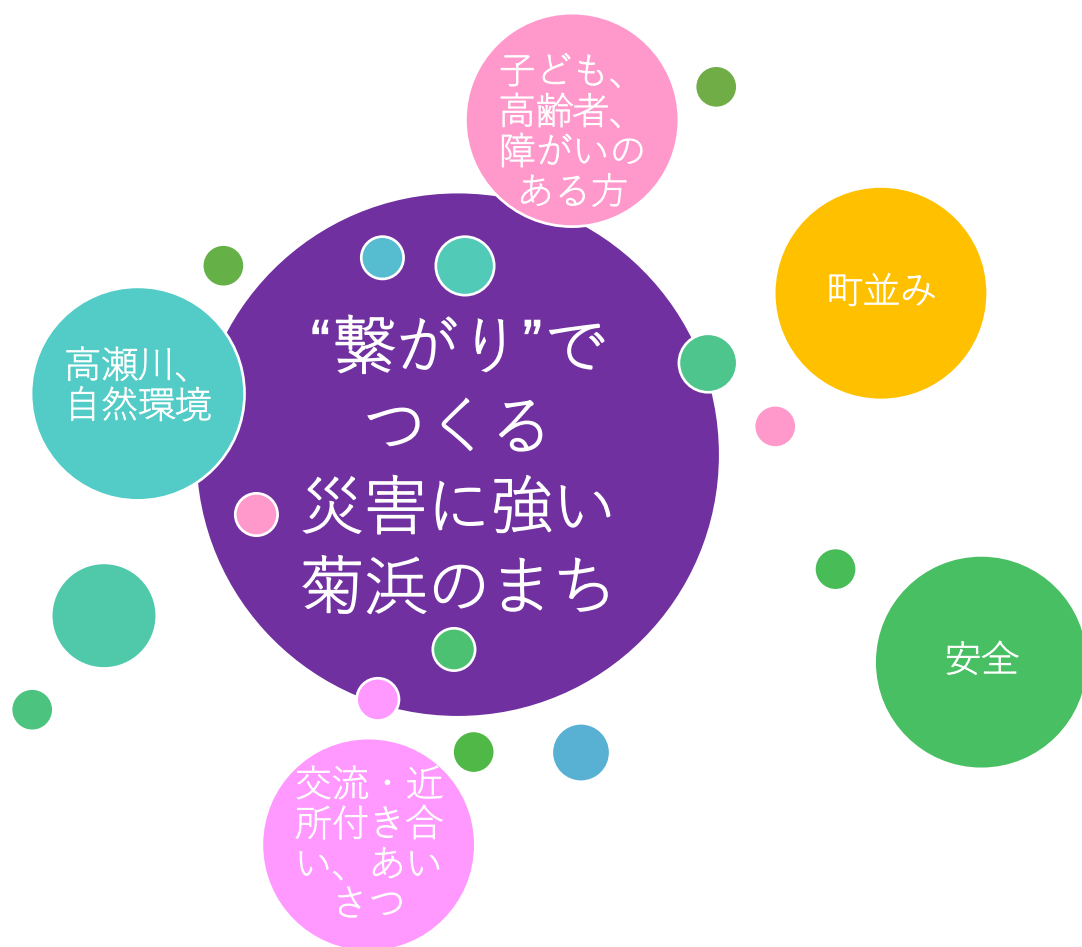
(1) 目指すまちの将来像（こんなまちになったらいいなあ）

「ほっ」と安心

「いきいき」と生活

「きらり」と未来

“繋がり”でつくる災害に強い菊浜のまち



(2) 目指すまちの将来像を実現する基本方針

目指すまちの将来像
(いそがしかながさき)

「ほっ」と安心 「いきいき」と生活 「きらり」と未来
“繋がり”でつくる災害に強い菊浜のまち

基本方針 1

繋がりを大切にして みんなで災害に備える

ご近所付き合い、事業者も含めた菊浜学区に関わる人々の顔が見える関係を大切に、普段から、みんなでお互いに助け合える繋がりをつくりましょう。

基本方針 2

倒れない・燃えにくい 「いえ」をつくる

菊浜の魅力ある町並みを大切にしつつ、倒れにくく、燃えにくい家づくりに取り組みましょう。空き家対策にも取り組みましょう。

基本方針 3

安全に避難できる 「みち」をつくる

災害時に、「地域の集合場所」や避難所に避難できるよう、事前に路地や避難経路の安全性を高め、安全に避難できるみちをつくりましょう。

基本方針 4

地域の資源を活かして安全な 「まち」をつくる

行政等と連携して高瀬川や鴨川の安全性を高めつつ、防災に役立つ資源として環境を守りましょう。防災ひろばの整備など、まちの防災性を高めましょう。

(3) 基本方針ごとの取組

基本方針 1

繋がりを大切にして みんなで災害に備える

ご近所付き合い、事業者も含めた菊浜学区に関わる人々の顔が見える関係を大切にし、普段から、みんなでお互いに助け合える繋がりをつくりましょう。

①一人ひとりが防災意識を高める

(具体的な取組)

- ・一人ひとりが非常用持出袋（3日分）の準備を行う
- ・回覧板などで防災に関する情報を確認する
- ・ハザードマップで自宅周辺の被害の状況を確認する
- ・燃えやすいものを自宅の玄関先に置かない
- ・防災に関する寄り合いや行事に参加する
- ・防災/バケツを置く、自分でバケツを置くことが難しい方を手助けする

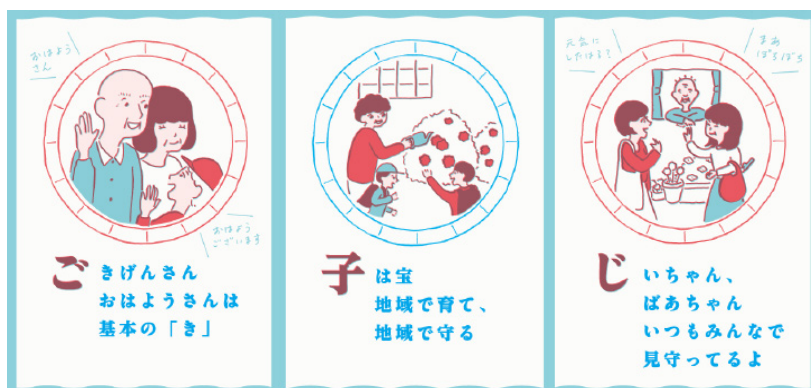


関連する「菊浜かるた」▲

②近所付き合いを大切にする

(具体的な取組)

- ・日常の挨拶など、近所付き合いを大切にする
- ・地域で子ども、子育て世帯、高齢者、障がいのある方、外国人などを見守る
- ・ワンルームマンションや町内会に入っていない方とも繋がる
- ・向う三軒両隣で防災意識を高める
- ・顔が見える関係づくりのための居場所をつくる



▲関連する「菊浜かるた」

③町内会の防災機能を高める

(具体的な取組)

- 町内会の総会で防災の話をする、取組を引き継ぐ
- 定期的に防災リーダー研修などを開催する
- 定期的に消火器や防災器具を点検する（防災訓練に合わせて点検するなどの仕組みを考える）
- 緊急連絡網を整える
- 水害を含めた災害時の安否確認、高齢者や要配慮者などが安全に避難できる体制や役割を明確にする
- 水害対策など、町内ごとにリスクに応じた避難計画を考える
- 高齢者の知恵や経験を活用する
- 地域のおせっかいさん、世話好きさんを大切にする



関連する「菊浜かるた」▶

④社会資源を知る、繋がる

(具体的な取組)

- お店や福祉事業所などの社会資源と顔の見える関係をつくる
- 事業者やお店の若い方に、町内会の寄り合いに参加するように声掛けする
- まちあるきなどで、社会資源を情報発信する
- 大規模災害時における施設利用など、宿泊施設と災害時の助け合いに関する協定を締結する
- 水や食料の提供など、災害時の協力体制について、建てる前からホテルなどの事業者と話し合う



高齢者見守りステッカー▲

⑤ 宿泊施設（旅館・ホテル・簡易宿所）など良い関係をつくる

（具体的な取組）

- ・災害時の対応や行動を管理者と共有する（宿泊者への周知を依頼）
- ・水害の時に、ホテルやマンションなどに一時的に避難させてもらえる関係をつくる
- ・自宅をゲストハウスにする時は隣近所に報告する
- ・ゲストハウスの連絡先を把握・管理する
- ・ゲストハウスとの情報共有・交流を育む



▲関連する「菊浜かるた」

⑥ 菊浜で暮らす人を増やす

（具体的な取組）

- ・学区外への転出者を減らし、学区への転入者を増やすため、みんなが楽しめるイベントなどで菊浜の魅力をPRする
- ・使われなくなったゲストハウスをみんなの食堂や子育て世帯の家にする



▲関連する「菊浜かるた」

基本方針 2

倒れない・燃えにくい「いえ」をつくる

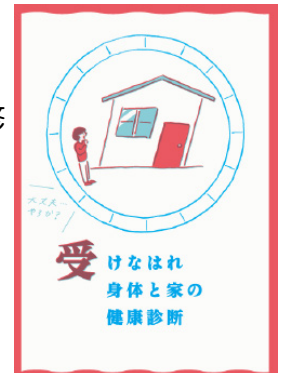
菊浜の魅力ある町並みを大切にしつつ、倒れにくく、燃えにくい家づくりに取り組みましょう。空き家対策にも取り組みましょう。

①建物の維持管理に取り組む

(具体的な取組)

- ・市の補助金を活用して、耐震診断や耐震改修・防火改修を行う
- ・建て替えできない住宅は、傷む前に改修やリノベーションを行う

関連する「菊浜かるた」▶



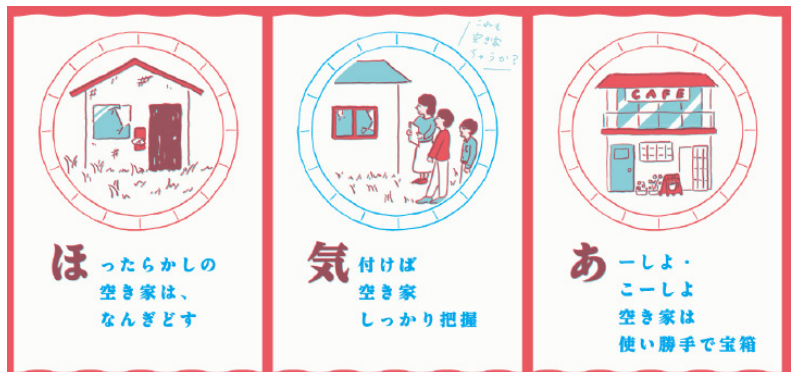
②できることから家の中の安全対策をする

(具体的な取組)・家具の固定などの家の中の安全対策を行う

③空き家の適正管理、活用を進める

(具体的な取組)

- ・市内の空き家状況を把握する、適正管理を呼び掛ける
- ・空き家を利活用するよう呼び掛ける、支援制度を情報発信する
- ・危険な空き家を除却するよう呼び掛ける、支援制度を情報発信する



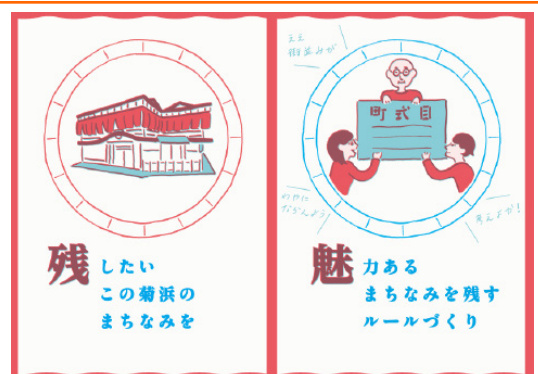
▲関連する「菊浜かるた」

④菊浜の町並みを残す、京町家を残す

(具体的な取組)

- ・町並みや京町家の魅力を発信する
- ・町並みを守るルールを考える
- ・町家改修の支援制度を情報発信する

関連する「菊浜かるた」▶



基本方針 3

安全に避難できる「みち」をつくる

災害時に、「地域の集合場所」や避難所に避難できるよう、事前に路地や避難経路の安全性を高め、安全に避難できるみちをつくりましょう。

①袋路（行き止まりの路地）や細い路地の安全性を高める

（具体的な取組）

- ・袋路（行き止まり路地）で2方向避難ができるようにする
- ・袋路（行き止まり路地）や細い路地の入口部の建物等の耐震・防火改修を行う
- ・路地の危険なブロック塀を改善する
- ・袋路（行き止まり路地）や細い路地の安全性を高める支援制度を情報発信する

②日頃から「みち」をきちんと管理する

（具体的な取組）

- ・自転車や植木など、自宅の周りを整理・整頓する。
路地の適正管理を呼び掛ける
- ・高齢者や車イス利用者が通りやすくする
- ・路上駐車を少なくする
- ・車や自転車にゆっくりな運転、安全運転を呼び掛ける

関連する「菊浜かるた」▶



③避難所などへの避難経路を安全にする

（具体的な取組）

- ・一人ひとりが、自宅から「地域の集合場所」への避難経路、「地域の集合場所」から避難所への避難経路を確認する
- ・町内の住民がみんなで一緒に避難したくなる方法を考える
- ・危険なブロック塀を改善する、高瀬川沿いの木を適切に管理する
- ・災害時に住民の避難を支える避難経路の耐震化や防火改修を進める
- ・耐震診断や耐震改修・防火改修、ブロック塀の改善等に関する支援制度を情報発信する

関連する「菊浜かるた」▲



基本方針 4

地域の資源を活かして 安全な「まち」をつくる

行政等と連携して高瀬川や鴨川の安全性を高めつつ、防災に役立つ資源として環境を守りましょう。防災ひろばの整備など、まちの防災性を高めましょう。

①公園や広場をつくる

（具体的な取組）

- ・災害時の避難などに役立つ防災ひろばをつくる
- ・駐車場など、災害時の避難に役立つ場所を確認する
- ・防災ひろば整備などに関する支援制度を情報発信する



▲関連する「菊浜かるた」

②「地域の集合場所」を共有する

（具体的な取組）

- ・町内会の掲示版などに、「地域の集合場所」が分かる『防災まちづくりマップ』などを設置する
- ・路地の愛称、「地域の集合場所」、町内の消火器が置いてある場所などを町内で共有する
- ・高齢者や障がいのある方と一緒に避難訓練をする
- ・地震時とは異なる水害時の避難方法や、安否確認・救出救護の方法も考えておく

③ 高瀬川の環境を守る

(具体的な取組)

- 高瀬川のホタルの生息環境を守る活動、花や緑の活動を行う
- 護岸の安全性を高めるよう、行政や関係機関等に働き掛ける

関連する「菊浜かるた」 ▶



④ 災害に強い環境をつくる

(具体的な取組)

- 「ひと・まち交流館 京都」の防災機能を充実するよう、行政や関係機関等に働き掛ける
- 正面公園に井戸や防災かまどベンチなど、防災機能を充実する
- 災害時に高瀬川の水を活用できるようにする
- 鴨川の水害対策を進めるよう、行政や関係機関等に働き掛ける

▲関連する「菊浜かるた」



- 4-③高瀬川の環境を守る**
(具体的な取組)
- ・高瀬川のホタルの生息環境を守る活動、花や緑の活動を行う
 - ・護岸の安全性を高めるよう、行政や関係機関等に働き掛ける
- 4-④災害に強い環境をつくる**
(具体的な取組)
- ・災害時に高瀬川の水を活用できるようにする

- 4-④災害に強い環境をつくる**
(具体的な取組)
- ・「ひと・まち交流館 京都」の防災機能を充実するよう、行政や関係機関等に働き掛ける

- 4-④災害に強い環境をつくる**
(具体的な取組)
- ・正面公園に井戸や防災かまどベンチなど、防災機能を充実する

- 3-①袋路（行き止まりの路地）や細い路地の安全性を高める**
(具体的な取組)
- ・袋路（行き止まり路地）で2方向避難ができるようにする
 - ・袋路（行き止まり路地）や細い路地の入口部の建物等を安全にする

- 3-②日頃から「みち」をきちんと管理する**
(具体的な取組)
- ・自転車や植木など、自宅の周りを整理・整頓する。路地の適正管理を呼び掛ける
 - ・高齢者や車イス利用者が通りやすくなる
 - ・路上駐車を少なくする
 - ・車や自転車にゆっくりな運転、安全運転を呼び掛ける

- 3-③避難所などへの避難経路を安全にする**
(具体的な取組)
- ・危険なブロック塀を改善する、高瀬川沿いの木を適切に管理する
 - ・災害時に住民の避難を支える学区の主要な道路など、避難経路の耐震化や防火改修を進める

市の広域的な幹線道路
五条通、河原町通、七条通は、京都市全体において、災害時の救援活動や物資輸送を支える重要な道路

学区の主要な幹線道路
木屋町通や西木屋町通、正面通、上の口通は、市の広域的な幹線道路同士を繋ぎ、日常生活や災害時の避難を支える学区の重要な道路

- 4-②「地域の集合場所」を共有する**
(具体的な取組)
- ・町内会の掲示板などに「地域の集合場所」が分かる『防災まちづくりマップ』などを設置する
 - ・路地の愛称、「地域の集合場所」などを共有する

- 4-④災害に強い環境をつくる**
(具体的な取組)
- ・鴨川の水害対策を進めるよう、行政や関係機関等に働き掛ける

- 通抜けができる路地
- 通抜けができない路地（袋路）
- 袋路（突き当たりが建物）
- トンネル路地
- 地域の集合場所
- 避難所（ひと・まち交流館 京都）
- 防災倉庫
- 公園
- 神社・お寺・公共施設等
- 駐車場・空き地等

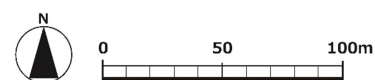


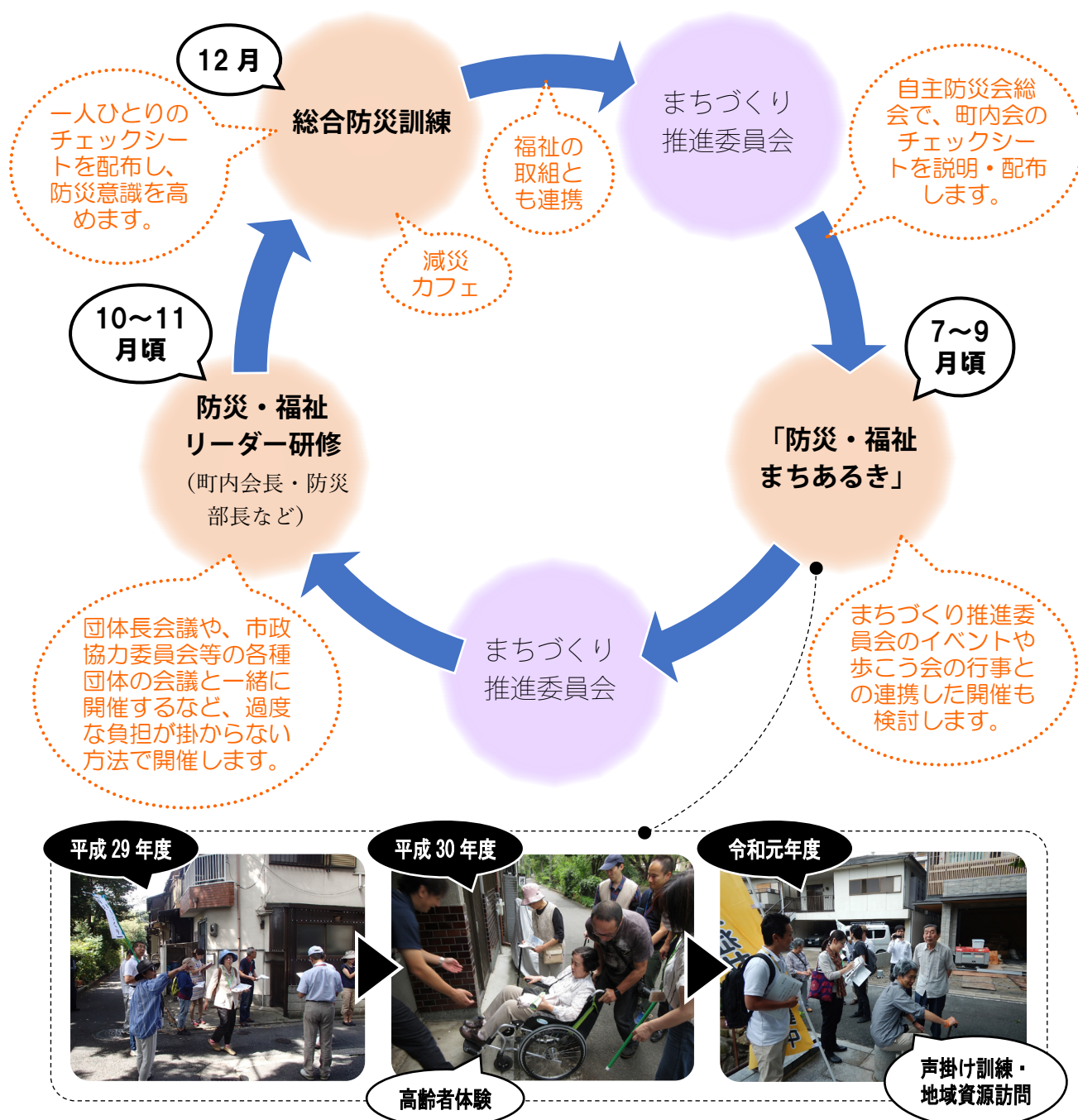
図 防災まちづくり方針図
26

第4章 防災まちづくりの進め方

(1) 防災まちづくりの取組のスケジュール

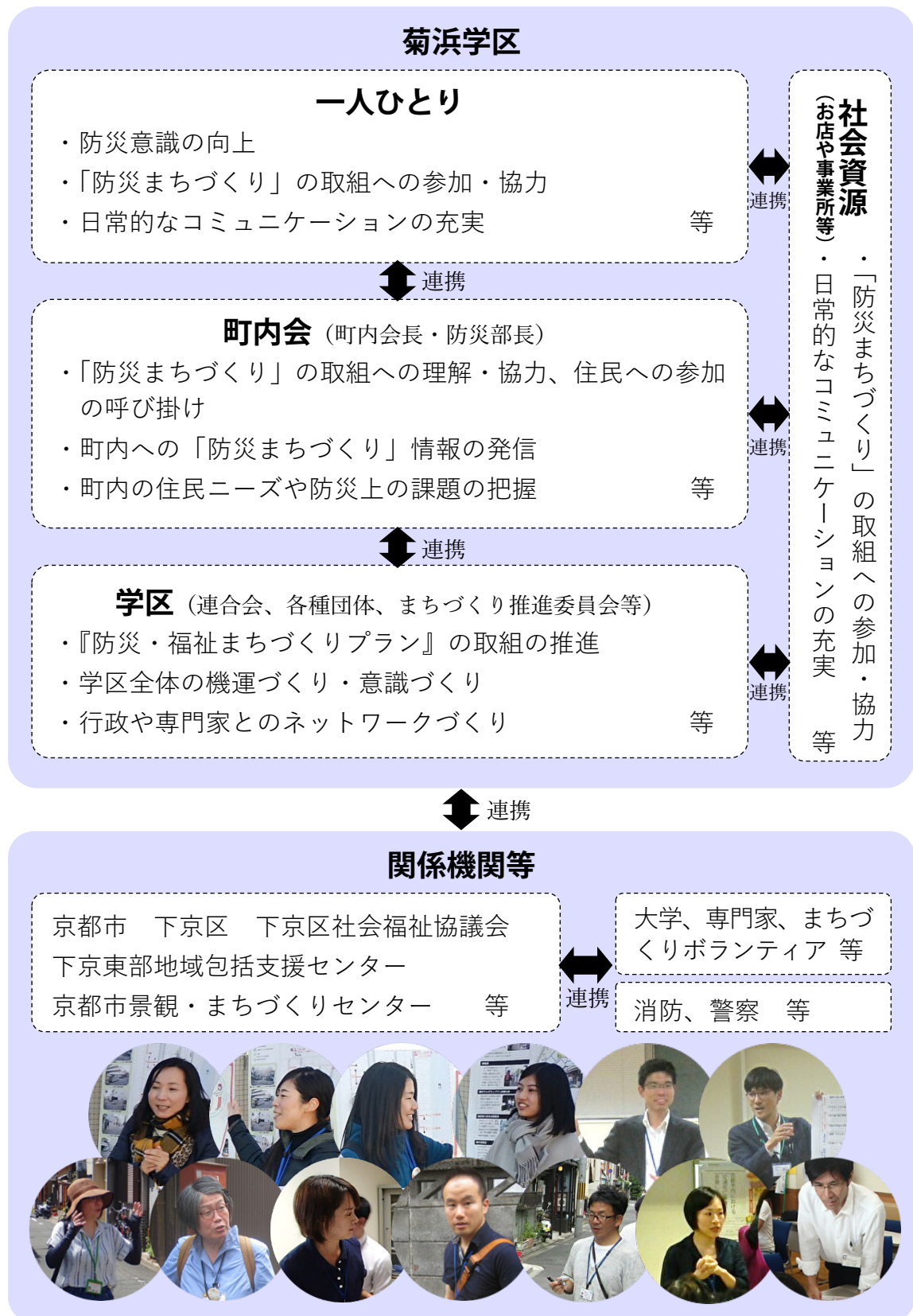
防災まちづくりの取組は、これまで3年間取り組んできた「防災・福祉まちあるき」や総合防災訓練での防災まちづくりコーナーを基本として、学区の防災力を継続的に高めていきます。

「防災・福祉まちあるき」は、参加者からの評価が高いことから、子どもや高齢者、障がいのある方、福祉事業所とのネットワークづくりなど、毎年、まちづくり推進委員会でテーマを企画・検討し、楽しみながら防災まちづくりの意識を高めていきます。




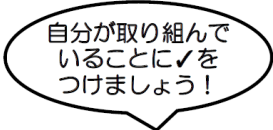
(2) 主体ごとの役割

菊浜学区では、一人ひとり、町内会、学区、社会資源が相互に協力・連携を図りながら、防災まちづくりの取組を進めていきます。また、防災まちづくりの取組に当たっては、関係機関等とも連携して取り組んでいきます。



(3)「一人ひとり」の役割

災害に強いまちをつくるためには、一人ひとりの防災まちづくりの取組が不可欠です。防災・福祉まちあるきや総合防災訓練など、学区の防災まちづくりの取組の機会を活用して、一人ひとりの防災まちづくりの取組を確認します。

防災まちづくりチェックシート	
自分に取り組んでいることを確認しよう！	
菊浜学区の目指すまちの将来像 「ほっ」と安心 「いきいき」と生活 「きらり」と未来 “繋がり”でつくる災害に強い菊浜のまち	
	
	
	チェック欄 ↓
基本方針1 繋がりを大切にしてみんなで災害に備える	
①防災用食料（3日分）を準備している	<input type="checkbox"/>
②回覧板などで防災に関する情報を確認している	<input type="checkbox"/>
③ハザードマップで自宅周辺の被害の状況を確認している	<input type="checkbox"/>
④燃えやすいものを自分の玄関先に置かないようにしている	<input type="checkbox"/>
⑤日ごろからあいさつをしたり、近所付き合いを大切にしている	<input type="checkbox"/>
⑥「防災」に関する寄り合いや行事（防災訓練等）に参加している	<input type="checkbox"/>
⑦今の自分の町内の防災部長を知っている	<input type="checkbox"/>
基本方針2 倒れない・燃えにくい「いえ」をつくる	
⑧家具の固定などの家の中の安全対策をしている	<input type="checkbox"/>
⑨いつも寝ている場所を近所の人に知らせている	<input type="checkbox"/>
⑩寝たばこやコンセントのほこりなど、火事に気を付けている	<input type="checkbox"/>
⑪耐震診断や耐震改修などに関する市の補助金があるのを知っている	<input type="checkbox"/>
⑫自分の町内にある空き家を知っている	<input type="checkbox"/>
基本方針3 安全に避難できる「みち」をつくる	
⑬自転車や植木など、自宅の周りは整理・整頓している	<input type="checkbox"/>
⑭災害時の「地域の集合場所」への避難経路を確認している	<input type="checkbox"/>
⑮自宅の近くにある路地の愛称を知っている	<input type="checkbox"/>
基本方針4 地域の資源を活かして安全な「まち」をつくる	
⑯駐車場など、災害時の避難に役立つ場所を確認している	<input type="checkbox"/>
⑰自分の町内の「地域の集合場所」を知っている	<input type="checkbox"/>

災害発生直後は、支援物資が届くまで時間がかかることも考えられるため、災害に備え、3日分以上の水・食料の備蓄をしましょう。



防災まちづくりに関する情報は回覧板で確認するようにしましょう。また、回覧板を回すときは、なるべく声掛けしながら相手に渡しましょう。



日頃からあいさつをしたり、ご近所さんとのコミュニケーションを大切にしましょう。



災害時には、自分の命を守る「自助」とともに、隣近所が支えあう「共助」が大切です。防災訓練では、隣近所が支えあう力を確認しましょう。



家具を固定したり、地震に強い家に改修するなど、命を守るようにしましょう。



身近なところの空き家は確認しておきましょう。危険な空き家は、市役所や区役所へも連絡しておきましょう。



町内の「地域の集合場所」への避難経路は、日頃から安全かどうか、確認しておきましょう。



高瀬川は菊浜学区の大切な資源です。日頃から高瀬川の環境を大切にしましょう。



(4)「町内会」の役割

町内会の防災まちづくりの取組についても、学区の防災まちづくりの取組の機会を活用して、確認します。

町内会で取り組んでいることに✓をつけましょう！

基本方針1 繋がりを大切にしてみんなで災害に備える

チェック欄



- ①町内会の総会で防災の話をする、取組を引き継ぐ ☐
- ②自分で防災バケツを置くことが難しい高齢者や障がいのある方の手助けをしながら、防災バケツを配置する ☐
- ③ワンルームマンションや町内会に入っていない方とも繋がる ☐
- ④定期的に消火器や防災器具を点検する ☐
- ⑤緊急連絡網を整える ☐
- ⑥町内の現状やリスクを踏まえ、災害に応じた安否確認や避難方法、高齢者などが安全に避難できる体制や役割を考える ☐
- ⑦事業者やお店の方に、町内会の寄り合いへの参加を声掛けする ☐
- ⑧水害の時に、ホテルやマンションなどに一時的に避難させてもらえる関係をつくる ☐
- ⑨ゲストハウスの連絡先を把握・管理する ☐

基本方針2 倒れない・燃えにくい「いえ」をつくる

- ⑩火災報知器の設置や家具の転倒防止の呼び掛けをする、取り付けを支援する ☐
- ⑪回覧板などで、耐震診断や耐震改修・防火改修等に関する支援制度などを情報発信する ☐

基本方針3 安全に避難できる「みち」をつくる

- ⑫町内の住民がみんなと一緒に避難したくなる方法を考える ☐
- ⑬耐震診断や耐震改修・防火改修、ブロック塀の改善等に関する支援制度を情報発信する ☐

基本方針4 地域の資源を活かして安全な「まち」をつくる

- ⑭駐車場など、災害時の避難に役立つ場所を確認する ☐
- ⑮路地の愛称、「地域の集合場所」を町内で共有する、啓発を続ける ☐
- ⑯高齢者や障がいのある方と一緒に避難訓練をする ☐

(5) 具体的な取組メニュー

防災・福祉リーダー研修や総合防災訓練では、一人ひとりの防災意識の向上や町内会の防災力を高める視点から、以下の取組を検討・実施します。

	取組メニュー（案）
防災まちあるき（7～9月頃）	<p>★定期的なまちの点検 （概要）ホテル建設などのまちの変化や、まちの危険なところを確認したり、「すぐにできる対策」を現地で学ぶなど、一人ひとりの防災意識を高める</p> <p>★声掛け訓練、高齢者体験など「福祉」からのまちあるき （概要）福祉関係者の方々や福祉事業所などと協力しながら、高齢者や障がいのある方などの視点・特性を体験し、そうした方々にとっても安全なまちにするための取組などを確認</p> <p>★耐震ローラー作戦 （概要）重要な避難経路等の昭和56年以前の木造住宅を対象として、専門家とともに、耐震化の大切さを伝え、市の助成制度の活用を呼び掛ける</p>
防災・福祉リーダー研修（10～11月頃）	<p>★「防災まちづくり」の勉強会、意見交換会（ワークショップ） （概要）町内会長や防災部長を対象に、町内会のリーダーとして、「防災まちづくり」の取組や助成制度等を学習したり、町内の課題を解決するための対策などについて意見交換</p> <p>★避難所運営ゲーム（HUG） （概要）大規模災害時における避難所での避難者対応や出来事などをゲーム感覚で模擬体験し、避難所運営に関する知識や運営側のポイント等を学習</p> <p>★福祉に関する学習会 （概要）災害に強いまちをつくるために必要となる「福祉」分野の考え方や具体的な取組などを学習し、意見交換</p>
総合防災訓練（12月頃）	<p>★「一人ひとり」の役割の取組状況の確認（チェックシートの活用） （概要）災害に強いまちをつくるための「一人ひとり」の役割に関するチェックシートを記入して頂き、取組状況を確認。特に重要な取組について、参加者で確認し、行政や専門家等からアドバイスを行う</p> <p>★「防災まちづくり」に関する意向調査 （概要）地域の魅力や危険な箇所、学区全体で取り組んで欲しい取組などを、簡単なアンケート調査等によって把握</p> <p>★高齢者や障がいのある方との避難訓練 （概要）幾つかの町内を対象にするなど、工夫を凝らしながら、災害時に安否確認や避難の支援が必要な方に声掛けし、避難訓練を実施</p>



京都 菊浜学区 防災・福祉まちづくりプラン

【発行年月】令和2年3月

【編集・発行】菊浜連合会 菊浜まちづくり推進委員会 菊浜学区民

140th
下京区誕生140周年

この町と、これからも。
この町と、いつまでも。



表紙のデザインは、学区の将来ビジョンである「住みずみ菊浜かるた三十帖（デザイン・イラストレーション 中西晶子氏）」を使用しています。